

未来予想図を作ろう!

横浜市立東希望が丘小学校 安富直樹

1. 授業単元名「未来予想図を作ろう！」
2. 教科 国語科, 図工科、総合的な学習の時間
3. 4年、6年
4. 使用アプリケーション Adobe Photoshop Elements (アドビフォトショップエレメンツ)
5. ねらい
 - ・国語科「2分の1成人式」の中で、自分の夢を「未来予想図」として作文や絵として表現する。(国語) (6年生では、「卒業を祝う会」などで活用できる。)
 - ・コンピュータやデジタルカメラの特性を知り、多様な表現方法の一つとして使うことができる。(図工、総合)



6. 活動の流れ

- ①デジタルカメラで、自分の顔写真を撮影する。
- ②アドビフォトショップエレメンツを起動する。
- ③顔だけを切り抜く。
- ④【新規】画面を開き、切り取った顔を貼り付ける。
- ⑤【移動ツール】で、顔の大きさや位置を調整する。
- ⑥【表示レイヤーを結合】させる。
- ⑦未来の姿を想像し、絵を描き込んでいく。
- ⑧できた作品を鑑賞し合う。

7. 授業のコツ

- ・デジタルカメラで顔写真を撮るときは、背景が白い場所で撮影すると、顔だけを切り取りやすい。(あまり細かく切り取らなくても、十分活動できる。)
- ・顔を貼り付けるときは、縦や横の大きさを調整し、細身にしたり太めにしたりして、将来の姿をいろいろと楽しむことができる。(いろいろとサイズを変えていくうちに、保護者に似てくることもあった。)
- ・名前や文字の色、位置なども工夫できることの1つである。野球選手を目指している子どもは、ユニフォームに名前を入れることもあった。

未来予想図を作ろう!

横浜市立東希望が丘小学校 安富直樹

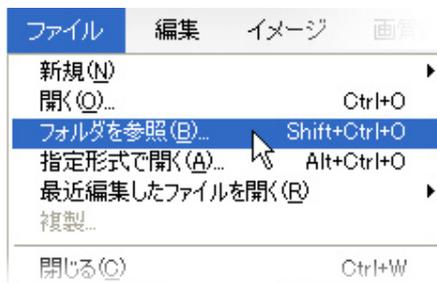
KEY WORD - なげなわツール 表示レイヤーを結合

- ① デジタルカメラで、自分の顔写真を撮影する。

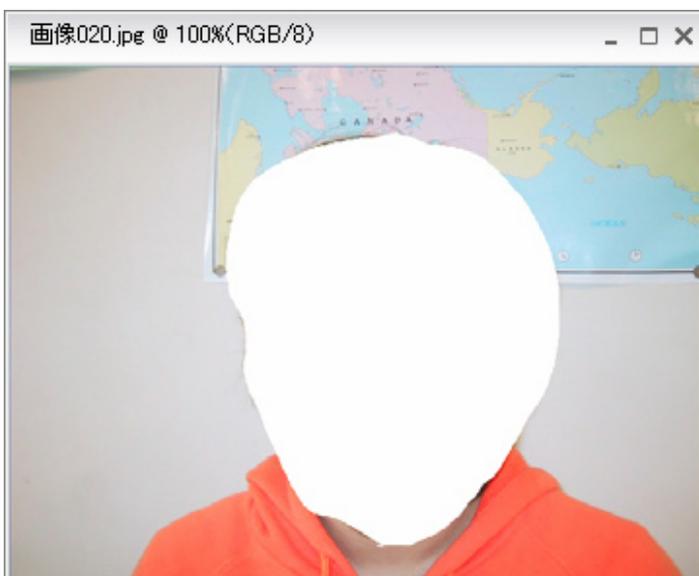


できるだけ、背景は白い場所を選ぶと、
後から切り取りやすい。

- ② アドビフォトショップエレメンツを [写真編集モード] で起動し、
ファイルブラウザなどで写真を開く。(マニュアル【必要な写真を見つけよう!])

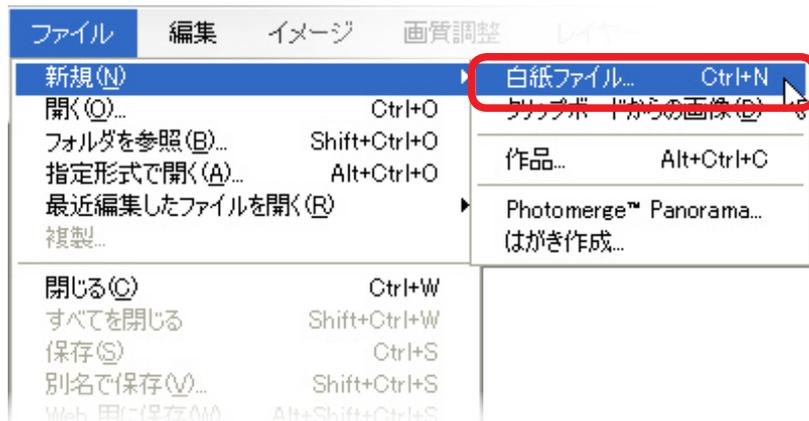


- ③ 【なげなわツール】で、顔だけを大まかに切り抜く。



未来予想図を作ろう!

- ④【新規】→【白紙ファイル】画面を開き、切り取った顔を貼り付ける。
サイズは、「800×600」ぐらいが作業しやすい。



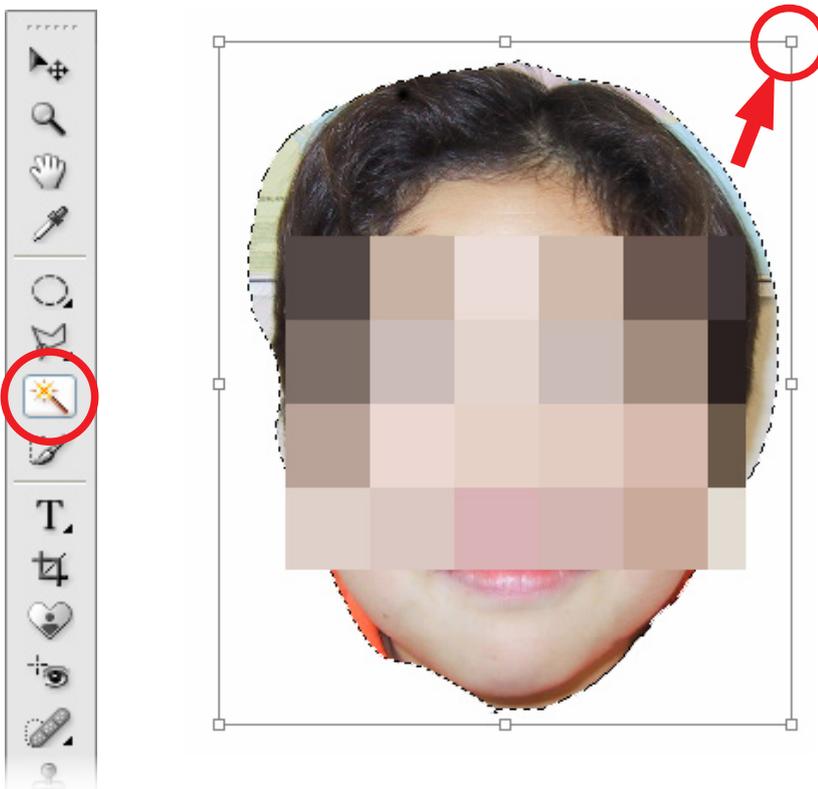
未来予想図を作ろう!

- ⑤ 【自動選択ツール】で、細かい部分を切り取っていく。



ここで時間をとらないようにしたい。
あまり細かく切り取らなくても活動できる
ことを伝え、安心感をもって取り組ませる。

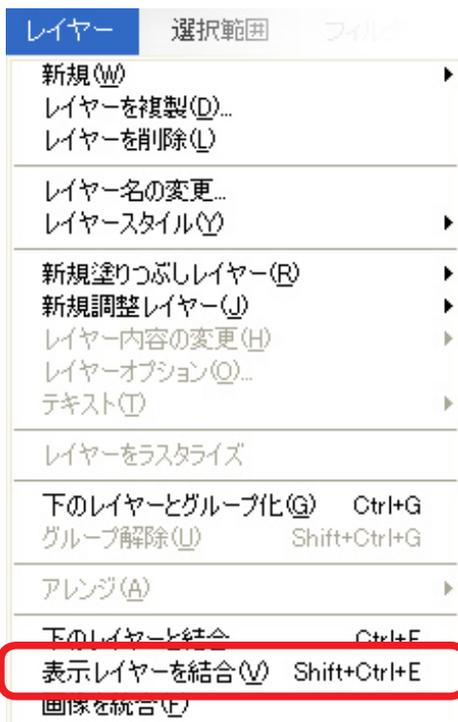
- ⑥ 【移動ツール】で、顔の大きさや位置を調整する。



周りに表示される□の記号を
持って、画像の大きさを変えて
いく。

未来予想図を作ろう!

⑦【表示レイヤーを結合】させる。



⑧未来の姿を想像し、絵を描き込んでいく。



⑨できた作品を鑑賞し合う。